

議員名	主な質問項目	掲載頁
平野 謙	教職員の負担軽減に向けた取組	6
水口 淳	戸田地区における防災戸別受信機の設置	6
浅田美重子	インクルーシブ教育推進、母子手帳の名称変更と電子化	7
霞 恵介	ヤングケアラーの実態、妊産婦健康診査事業	7
渡部一二実	愛鷹・西浦地区センター更新に関する基本的な考え	7
高橋 達也	鉄道高架事業費の増と財政見通しの公表	7
渡邊 博夫	地域包括ケア、在宅医療と介護、物価高騰・円安等、事業者支援	8
小澤 隆	都市空間デザイン、学校教育のデジタル化、拉致問題関連図書	8
小泉 宣子	女性デジタル人材育成、避難行動要支援者の支援	8
岡田 進一	世界平和統一家庭連合（旧統一教会）との関わり	8
川口 三男	本市のまちづくりの将来像を市民と共有していく取組	9
山下富美子	鉄道高架の事業費増額、工期の延伸、借金残高と財政破綻	9
江本 浩二	旧統一教会との関わり、有機農業産地づくり推進	9
梅沢 弘	鉄道高架の是非を問う住民投票、社会資本老朽化と縮小社会	9

※議員名の下にQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

※文面中の波線（~~~~）については、P.10の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目(通告一覧)はこちら

市政について 問う！

第十四回（九月）定例会では、十四人の議員が市政について質問しました。



一般質問

戸田地区においてデジタル化に対応した戸別受信機を設置する考えは

問 各地で自然災害が頻繁かつ激甚化する中、自然災害から市民の命を守る手段として、戸田地区においてデジタル化に対応した防災戸別受信機を設置する考えは。

答 危機管理監／戸別受信機は機器がある場所でしか情報を得ることができないなどのデメリットがあることから、主に公共施設に整備することとし、住民向けの戸別の設置は考えていない。本市では、市民の自助を促進するための取組として、同報無線の放送内容を電話で確認できる自動応答システムを導入したほか、

いつでも最新の情報を取得できるように、メール・防災アプリ・SNSなどに加え、自動架電システムを運用するなど、様々な手段により災害に関する情報発信を行っている。今後も、これらの取組を一層推進し、一人でも多くの市民に対して情報を配信できるように努めていく。

同報無線 自動応答システム
055-955-5255

大雨の時など同報無線が聞き取りにくく、避難勧告等を知ることができなかった場合に、市民の皆さんが放送をもう一度確認することができるよう、自宅の電話や携帯電話から、放送した内容を確認できる自動応答システムを運用しています。

水口 淳



人材確保による教育環境の充実に対する本市の考えは

問 常態化している市立小中学校教職員の時間外勤務の状況は。

答 教育長／令和三年度に時間外勤務を行った教職員のうち、五十二・九％が年間三百六十時間を超えた。また、七・二％が二か月以上連続で八十時間を超えている。

問 教職員確保の状況は。

答 教育長／本市では、クラス数や児童数に応じた基礎的な教職員数は確保されている。一方で、県教育委員会が政策上の加配教職員として配置予定であった教職員が確保できず、未充足の学校が生じている。また、

別の学校では出産・育児休業や病気休業の代替教職員についても、年度途中で確保することが困難であり、未充足の状況が続いている。

問 教育環境の充実に向けた予算確保に対する本市の考えは。

答 市長／本市の教育大綱に掲げる「貴き志を持つ人」の育成において、人材確保による教育環境の充実は重要な課題である。そのため、教育現場の実態を把握した上で教育委員会と連携し、国や県へ人材確保を働きかけるとともに、事業の必要性を見極めつつ必要な予算を確保していく。

平野 謙

